

アセットマネジメントの推進

**背景**

全国的な傾向として・・・①人口減少や少子高齢化による社会構造の変化  
 ②市民ニーズの変化  
 ③公共施設の老朽化による大量更新時代の到来  
 ④扶助費等の義務的経費の増大

**国の取組み**

・全国の自治体に対し、「公共施設等総合管理計画」の策定要請【平成26年度】  
 ～ 公共施設を取り巻く課題について、各自治体で早急に取り組む ～

**静岡市の取組み（基本方針の策定）**

・本市が保有する公共建築物の現状を把握【平成24年度】  
 ・「静岡市アセットマネジメント基本方針」を策定【平成26年度】  
**目的：「健全で持続可能な都市経営を目指す」**

基本方針1 総資産量の適正化  
基本方針2 長寿命化の推進  
基本方針3 民間活力の導入

施設群別マネジメント方針 方向性の区分の考え方

区分	考え方	イメージ(一例)
継続	社会的なセーフティネットなど公共の果たす役割が今後も継続的にあり、民間が進出しにくいマーケット分野で、ハコモノを拠点に公共サービスを提供していくことが必要であると考えられる施設群を「継続」と表しています。 なお、継続するにあたっては、単純な施設の現状維持ではなく、施設の長寿命化、縮小、施設の有効活用による収益の増大や維持管理費の削減を前提とします。	
複合化	市民ニーズとしての需要があり、今後も公共サービス提供の必要性が認められ、さらなる公共サービスの向上を目指すため、他の機能を持つ公共施設と併合し、複数の機能を持つハコモノとして整備することで、ひとつの施設を多機能化し、活用していく施設群を「複合化」と表しています。	
統廃合	複合化と同様、公共サービス提供の必要性は認められるものの、施設の老朽化や経済性の観点から、同種・同類の施設と統合させ、ひとつの施設(ハコモノ)にまとめることにより、延べ床面積を縮減し、維持費の削減を図っていく施設群を「統廃合」と表しています。 また、市民ニーズの変化や民間企業等の進出により、行政サービス提供の観点から機能や役割を終えたと考えられる施設の廃止も含まれます。	
民営化	民間事業者の参加が期待できる場合や、既に民間事業者が運営している状況があることなどを踏まえ、今後、民営化を進めるべき施設群について「民営化」と表しています。 なお、ここでは、度合いの異なる「民営化」を広く指しており、①施設運営の主要業務の民間委託化、②指定管理者制度の導入、③PPP/PFI(※1)手法等による施設の整備・運営、④施設設置・運営の民間移行(民設民営)を「民営化」としています。	

下に示すように、行政の直営から民間委託化まで、段階的に民営化が進む。

- 行政の直営 → 主要業務の委託化
- 主要業務の委託化 → 指定管理 (PFI手法含む)
- 指定管理 → 民設民営

静岡市の取組み（施設群別マネジメント方針の策定）

- ・本市が保有する公共施設（約1500施設）の今後の方向性を行革審に諮問
- ・施設を16群52分類に整理し、それぞれについて、今後の方向性を「継続」「複合化」「統廃合」「民営化」の4つに分類し答申受領【平成27年度】

施設群別マネジメント方針（抜粋）

施設群	利用用途分類	今後の方向性
1 高齢者福祉施設	① 生活福祉センター	継続・複合化
	② 養護老人ホーム	継続
	③ 世代間交流センター	複合化・統廃合
2 障害者福祉施設	① 障害者自立支援センター	継続・民営化
	② 心身障害児支援施設	継続・民営化
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
13 駐車場・駐輪場	① 駐車場・駐輪場	駐輪場: 継続・民営化 駐車場: 統廃合・民営化
14 防災・消防施設	① 防災・消防施設	継続・複合化
15 庁舎等業務施設	① 本庁舎	継続・複合化
16 その他	① 清掃処理施設	継続・統廃合・民営化

駐車場・駐輪場への民間活力の導入

H27年度 行革審からの答申（抜粋）

- ・「駐輪場」については、より一層、指定管理者制度を導入するなど「民営化」を推進するとともに、「駐車場」については、積極的に売却することで、民間移行を進めていただきたい。
- ・稼働率の低い「駐車場・駐輪場」については、適切な運営方法を含め、施設のあるべき形態についても併せて検討いただきたい。

事例：箕面駅前駐車場・駐輪場等再整備運営事業 大阪府箕面市

- 駐車場と自転車駐車を一体的に建替え。
- 地域活性化施設も合わせて整備
- 維持管理・運営を合わせ行う。
- PFI事業



事例：大竹市自転車駐車場施設整備・運営事業 広島県大竹市

- 無料の平面駐輪場を建替え
- 完全独立採算型のより質の高い自転車駐車場の整備・運営
- PFI事業

